

アース・クリエイト(有)

岐阜市・建設業

平成24年度
認定

延べ8人の男性従業員が育児休暇を取得し、厚生労働省による「イクメン企業アワード2014」にてグランプリを受賞。フォローし合う社内風土が、作業効率の向上や時間外労働の減少にも結び付いている。

従業員数／男性18名 女性5名 計23名 ※平成28年3月1日現在



女性営業部第一号の上村真紀さんは、「営業に回る空き時間に幼稚園へ行くなど、自分の時間で動けるのでとても働きやすい」と語る。

社員満足、業績向上に直結

男性社員が多い小規模事業所でありながら、これまでに8人の男性従業員が育児休業を取得しているアース・クリエイト。取り組みを始める以前は、時間外労働が300時間以上だったが、各現場の情報共有や仕事を助け合うバディ制度などによって、作業の計画化や効率化を図り、子育て支援と会社業績の両面を並行して改善。結果、会社全体で育児従事者をフォロー

する姿勢が生まれ、年次有給取得率を伸ばしながらも、平均時間外労働を3分の1に大幅縮小し、厚生労働省「イクメン企業アワード」にてグランプリに輝いた。

毎月社内では個人面談が行われ、業務管理とともに家庭状況等を把握。配偶者出産時の特別休暇や、学校行事に積極的に参加できる「始業・終業時刻の繰り上げ・繰り下げ制度」など、必要に応じた制度活用を促す。

2015年9月には、新たに女性営業部を設立。3人の子どもを育てる女性社員を採用し、育児中でも柔軟に勤務時間を変更しながら働ける環境を整えた。現在育児休暇を取得中の社員も、

復帰後はこの部署に配置するなど、さらに増員したい考えだ。中心となつて取り組みを進めてきた岩田良営業本部長も、「短時間しか働けないという人も、複数人を組み合わせることで、多様な能力の人材を得ることができる。女性の力や考え方を取り入れて、より活気のある職場をつくりたい」とさらなる改革へ意欲を見せた。



河野燕子興子ども・女性局長(右)にグランプリ受賞を報告した中石俊哉社長(右から2人目)。